

2 目標達成計画（令和2年度）

事業所名 グループホーム神苑
 作成日 令和 2 年 3 月 25 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	一人一人の尊厳とプライバシーを考えた言葉かけや対応に欠けている。 忙しい時や利用者の状態によってスタッフの語尾が強い口調やつい大きな声での対応が見られる事があり、各自の人格や誇りを尊重する対応が充分でない場面が見られる。	・利用者に対する言葉かけに配慮が欠ける時があり、人生の先輩であることを念頭に対応する。 ・排泄時の声掛等において、プライバシーの確保をもって尊厳を損ねない様に対応する。	カンファレンスやミーティングにおいて、尊厳をもった対応や声掛けについて考え、見直す機会を設ける。カフェだけに限らずその都度お互い注意しあえる体制に向かうよう努める。 特に排泄に関してのデリケートな言葉かけなどには十分注意をする	12ヶ月
2	49	日常的な外出支援 ADLの低下された利用者への外出が、歩行の安定された利用者には比べ少なく、日常的な外出に偏りがある。業務優先になりがちで、日常的な外出支援の頻度が少ない。又、健康面や気分により外出支援が全く出来ない方もおられる	入居者にとって負担の少ない外出支援を実行、季節の変化を感じて頂く。希望のある方は出来るだけ希望に沿い、全く出来ない方も月1は外出出来るよう努める。車椅子利用の方の外出の機会を増やし、苑庭での外気浴や茶話会、近隣の公園等への散歩等、無理のない支援する。	隣への散策コースを設定し、外出実施表を作成、外出の少ない利用者へ積極的に外気に触れて頂くよう努める。個々に応じた外出を実施し、偏りの無いよう支援する。 車椅子使用の利用者については、近隣への散歩や苑庭への外出を週2～3回は実施する。	12ヶ月
3	40	食事を楽しめる事の出来る支援 食事を楽しんで頂ける様に努めてはいるが、食事の献立に同じメニューが続くことがあったり、食べ易さへの工夫に欠けている時がある。 利用者共同での食事作りへ機会が減ってきている	利用者の有する能力を活かして共同で準備や、食に係わる機会を工夫しながら、味や食感以外（見る・匂い等）でも楽しめる様に努める。	利用者との共同での食事準備を可能な範囲で実施する。同じ献立にならないように、前後の献立を確認する。 季節や行事食の膳に季節を感じる事の出来る品を添える等、見て楽しむ事が出来る工夫をする。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。